

福津市社協だより

2022
8



特集

福津市障がい児・者アート展

「白いねこ」

「This is my art」作品募集

P 4-5 / 令和3年度福津市社会福祉協議会事業報告

P 6 / 小地域かわら版、外出支援活動団体サポート事業の活動団体を募集します

P 7 / あんしん安らか事業のご紹介、連載 こんにちは！民生委員です！

P 8 / デイサービスセンター菜々から野菜の寄付をいただきました



特集

令和4年度福津市ふれあい交流事業

福津市障がい児・者アート展「This is my art」作品募集

近年「障がい者アート」という言葉を耳にする機会が多くなりました。アートに障がいの有無は関係ありませんが、あえてそう呼ぶのは障がいの特性を生かした作品たちが独特のパワーを持つているからかもしれません。

アートは楽しむもの、見て感じて、時には触れて、心が豊かになるものです。作品に感動し、心が揺り動かされることで、自然と作者の気持ちに寄り添い、その人となりを想像します。その時「障がい」は個性となり輝きを持ちます。特定の図形の羅列だったり、色彩の強さだったり、写真かと思まちながうほどの作品だったり、同じ障がいのくくりであったとしても、作品は一つひとつ違います。障がい者であってもそうでなくとも作品はその人そのもの、一人ひとり違うのです。障がい者のアートは「障がい」という言葉や見えない壁をこわすものかもしれません。

福津市では、障がいのある人もない人も、お互いに人格と個性を尊重し合える、共に生きるふくつつを推進するため、「福津市ふれあい交流事業」を実施しています。

令和4年度は、福津市に関係ある障がいの者の方の作品を一同に集めて「福津市障がい児・者アート展『This is my art』」を開催します。開催にあたり、皆様の想いの込められた芸術性や創造性あふれる作品を募集します。

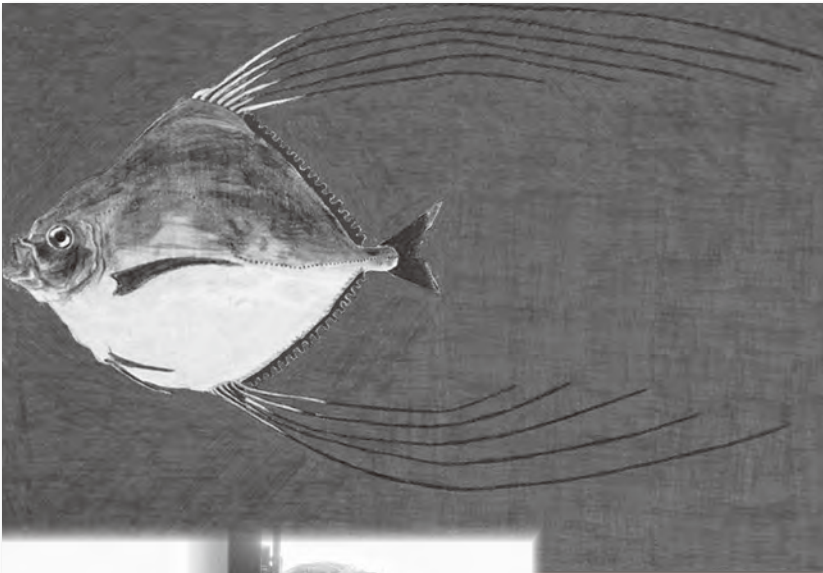
○展示期間

令和5年1月14日(土)から

令和5年1月22日(日)の9日間

○展示場所

イオンモール福津2階イオンホール



「いとひきあじ」



「かぶきもの」

作品募集要領

応募資格

福津市に在住、または施設に通所している障がいのある方が創作した作品

応募方法

応募用紙に必要事項を記載のうえ、作品写真を同封して福津市社会福祉協議会まで郵送または直接持参してください。

※応募用紙は福津市社会福祉協議会の窓口に取りに来られるか、ホームページからダウンロードすることができます。

※応募期間中は作品写真による受付を行いますので、実物作品はお預かりできません。

※展示数に限りがあるため、作品数が上限に達しましたら、募集を締め切ります。

※作品のお預かり、展示の詳細は、募集期間終了後に郵送で連絡します。

※提出いただいた作品写真の返却はいたしませんので予めご了承ください。

応募期間

令和4年9月1日(木)から令和4年10月31日(月)必着

出展料

無料(応募用紙郵送にあたっての切手代はご負担ください)

作品規定

平面作品

水彩、油絵、版画、鉛筆、切り絵、墨絵等の平面表現の作品。デジタル作品も可。

サイズ：縦・横2辺の合計200cm以内。

※アニメや漫画、キャラクターなどの著作物、アイドルなど特定の人物、既存の作品(イラスト、写真を含む)を複製、模写した(ぬり絵などへの着色も含む)作品や題名は、著作権法等に関わる場合があります、展示できませんのでご注意ください。

作品数

1人につき1点まで

注意事項

- ・未成年の方は応募にあたり保護者(親権者)の同意が必要です。
- ・作品の保管および返送には十分留意いたしますが、事故等による破損・紛失などの責任については負いかねますので、予めご了承ください。
- ・作品は、吊りひもや額装など展示できる状態にして提出ください。
- ・壊れやすい作品、腐りやすい作品、運搬に耐えられない作品の出品はお断りします。
- ・危険物を使った作品(発火物や毒物など)、プライバシー権や肖像権、著作権、商標権に抵触する作品は受け付けできません。

お問い合わせ先

社会福祉法人福津市社会福祉協議会 〒811-3218 福津市手光南2丁目1番1号

TEL : 0940 (34) 3341 FAX : 0940 (34) 3343

ホームページ
はこちら



福津市社会福祉協議会事業報告

少子・高齢・核家族化の進行に加えて、地域社会や家庭の様相が変容し、地域の支えあい機能が希薄化して、社会から孤立したり、生活に困窮したり、地域生活を営む上での様々な課題を抱え支援を必要とする人が増えています。

福津市社会福祉協議会では、平成28年度に市と一体的に策定した第2期福津市地域福祉計画・福津市地域福祉活動計画に基づき、各郷づくり推進協議会、自治会、小地域福祉会との連携を密に図り、第2層生活支援コーディネーターとともに、地域の特性を生かした地域の支えあいの仕組みづくりに取り組み、地域共生社会の実現に向けた地域づくりを行いました。

また、複雑多様化する地域生活課題に対応するため、前回計画の考え方を引き継ぎながら、「支える側」「支えられる側」という従来の関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「つながる」ことで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく「地域共生社会」の実現に向け、「第3期福津市地域福祉計画・第2期福津市地域福祉活動計画」を策定しました。

さらに、新型コロナウイルスの感染拡大により、経済的に大きな影響を受けた世帯への生活福祉資金特別貸付についても昨年度に引き続き対応しました。今後も引き続き、すべての人がお互いに、見守り、支えあい、助けあえる地域づくりを進めていきます。

令和3年度の主な事業活動

① 組織の運営

- 理事会の開催(6回)
- 評議員会の開催(3回)
- 評議員選任・解任委員会の開催(1回)
- 地域福祉計画・地域福祉活動計画ワーキング会議の開催、審議会の開催

② 地域での支え合い活動の充実

- 小地域福祉会(43か所)
※新規結成1か所
- 介護予防サロン
(20か所)
- 郷づくり推進協議会との連携(会議・行事参加94回)
- 第2層生活支援コーディネーター業務第2層コーディネーター連絡会(5回)
- ふくつのふくし発行(6回)
- 外出支援活動団体
サポート事業
(登録団体7団体、実施回数162回、延べ利用者881名)
- 社会福祉法人連絡会
(連絡会の開催1回)



南町区自治会の外出支援



東福岡6区福祉会のサロン

③ 包括的・総合的支援体制の確立

- ふくおかライフレスキュー事業(支援件数3件)
- 災害対策事業
(個別支援計画先進地視察、防災士会への参加)
- ふくし活動用具貸出し事業(96件)
- 福祉団体支援事業(4団体)
- 民生委員・児童委員との連携
全員協議会・ブロック会議への出席(18回)
- 心配ごと相談(相談者31名)
- 生活福祉資金貸付事業(相談件数149件)
※新型コロナウイルス感染症にかかる特別貸付
(相談件数1019件、申込件数367件)
- 手話講習会(3クラス、全23回)
- 福津市障害者意思疎通支援事業(派遣回数82回)
- 車イス無料貸出(114件)
- 移送サービス事象(利用回数23回)
- 訪問介護、介護予防・日常生活支援総合事業(訪問介護派遣時間5863時間、訪問サービス819時間)
- 障がい者居宅介護事業
(派遣時間1028時間)
- 同行援護事業(派遣時間644時間)

■ 福津市ふれあい交流事業

まごころ製各販売等啓発パンフレットの作成、「コミュニケーションカフェふらつと」(6回)

■ 総合相談支援

8050問題、ひきこもり、生活困窮、受診中断等社会的に孤立した方々への支援及び調査研究(支援人数延べ138人、支援回数403回)

④ 福祉活動の充実と権利擁護

■ あんしん安らか事業(契約者3名、相談受付29件)

■ 日常生活自立支援事業(契約者38名、支援回数565回)

■ あんしんサポート事業(契約者2名、支援回数15回)

■ 市民後見人推進事業

市民後見人活動支援(7名)、市民後見人養成研修フォローアップ研修、事例発表・意見交換会

■ 法人後見事業(受任件数4件)

権利擁護事業運営委員会(3回)

■ ひとり親家庭等日常生活支援事業(利用人数7人)

■ 障がい者虐待防止センター事業

(相談・対応件数172件)
障がい者虐待防止研修(基礎編・応用編)

⑤ 福祉教育と人材育成・支援

■ ふくし体験教室事業 (12回)

■ ボランティア保険の加入手続き

■ ボランティア育成支援(7団体)

■ ボランティア養成講座事業

■ ふくし体験教室

■ ボランティア養成講座

■ 車いす体験編(8名)

⑥ 地域福祉啓発事業

■ ホームページの公開

■ 広報誌発行(年4回・全戸配布)

⑦ 社協機能の充実強化と財源確保

■ 社協機能の充実強化

■ 赤い羽根共同募金運動への協力

■ 歳末助け合い募金配分金事業

⑧ その他

■ 納骨堂管理運営事業



ボランティア団体
手話サークル「ひまわりの会」



ふくし体験教室「車いす体験」

収支予算

●収入	(単位：円)
寄付金収入	1,035,210
補助金収入	50,139,200
受託金収入	24,210,565
事業収入	1,591,600
介護保険事業収入	24,972,450
障がい福祉サービス等事業収入	4,163,885
利息収入	2,511
その他の収入	299,939
積立金の取崩収入	5,800,000
預託金長期預り金	2,013,000
前年度繰越金	25,405,522
収入合計	139,633,882

●支出	(単位：円)
人件費支出	77,561,487
事業費支出	7,022,165
事務費支出	12,101,361
助成金支出	7,415,503
固定資産取得支出	4,184,000
積立金	2,390,631
他の事業への繰入金	2,321,520
予備費支出	0
次年度繰越金	26,637,215
支出合計	139,633,882

小地域
かわら版

光陽台1区で支え合い活動に 関わる方の交流・意見交換会が 行われました

令和4年5月29日(日)に光陽台1区で分別収集や外出の支援、見守り声かけ活動など地域の支え合い活動で活躍するメンバーや自治会の役員が集い、「光陽台1区地域支え合いの会」が開催されました。

令和3年度に民生委員が中心となつて行った困りごとを把握するためのアンケート調査の報告があり、その後、支え合い活動の状況や活動の中で抱える困りごとなどについて参加者で情報を共有しました。

アンケート調査と活動状況の共有をとおして、「向こう三軒両隣の考え方を大切に支え合つていきたい」「気の毒だとよく利用者から言われるが、自分にとっては認知症予防になるし、参加者からの喜びの声がうれしい」「地域を支える人材の確保が大変だ」と、地域での支え合



アンケート調査の結果を報告する吉村民生委員

うことの大切さや喜びを感じながらも、地域のつながりの希薄化や担い手不足に苦悩する声がありました。

外出支援活動団体サポート事業の 活動団体を募集します

福津市社会福祉協議会では、外出に困難を抱える高齢者等の買い物やサロンへの外出を支援する地域団体へ、車両の貸出しや保険加入等の支援を行っています。

【事業のしくみ】

地域団体



- 運転手・介助スタッフの確保
- 参加者の募集
- 日程・行先などの計画

社会福祉協議会



- 車両の貸出し・維持管理
- 保険の加入
- 運転・介助の研修

事業対象となる団体

- 次の①から④のいずれにも該当する団体です。
- ① 外出支援の実施日数が概ね2週間に1日以上であること。
 - ② 団体の構成員は市内在住または在勤するメンバーであること。
 - ③ 主たる活動の場所が市内であること。
 - ④ 自主的及び継続的な活動ができること。

対象となる活動

地域のボランティアが主体となり、閉じこもりがちな高齢者等の外出を支援する活動。ただし、特定の個人の買い物や通院のための送迎は使用できません。

福津市社会福祉協議会では、本事業に関する説明会を実施しています。団体内で活動を検討される際はお気軽にお声掛けください。

お問い合わせ先

福津市社会福祉協議会
☎0940(34)3341

こんなことで
お困りではありませんか？

あんしん安らか事業のご紹介

元気なうちに自分の死後のことは
自分で決めておきたい



自分が亡くなった後のことは
どうしたらいいんだろう…

このようなことでお困りの時は、福津市社会福祉協議会へご相談ください！
住み慣れた地域で安心して最後まで生活を送ることができるよう
「死後事務委任契約」が行える「あんしん安らか事業」を実施しています。
相談は随時受け付けていますのでお気軽にご相談ください。

事業の利用対象者

- 福津市内に居住する65歳以上の方
- 原則として子がいない方
- 明確な契約能力を有する方(契約内容を把握し、理解ができる方)
- 生活保護を受給していない方

遺贈による寄付を受け付けています

遺贈とは、「遺言」によって遺産の一部またはすべてを相続人以外の者や
団体に無償で譲ることを言います。

福津市社会福祉協議会では、皆さんが大切に築かれた財産を地域福祉の
充実のために活用させていただきます。



お問い合わせ 福津市社会福祉協議会 ☎0940(34)3341

連載

こんにちは!!

広げよう! 地域に根差した思いやり!

民生委員です!



畦町区担当

まなべ えいこ
真鍋 栄子 さん

活動のモットー 「地域と地域、地域と福祉とのつなぎ役」

今回は、畦町区担当の真鍋さんにお聞きしました。

畦町区は、畦町宿をはじめとした、昔からの伝統や行事が受け継がれ
つつも、近年では新しい住民が増えている地域です。

真鍋さんは、以前から自治会活動や児童指導員などで活躍されてお
り、自治会長から声をかけられ、民生委員に就任しました。以後およそ
6年に渡り民生委員の活動を続けています。

就任当初は、畦町区の高齢者世帯を訪問し、民生委員について知って
もらうとともに、顔つなぎをしました。その後もシニアクラブやお宮の
清掃など地域の大小様々な集まりに参加して、住民とのつながりを作り
つつ、困っている人がいないか情報収集するほか、日課としている許斐
山への登山の行き帰りや散歩のときに声かけをして、畦町を見守ってい
ます。

「昔から住む人も、新しく畦町に移り住んだ人も、地域活動により参
加してもらい、さらに地域のつながりを深めていきたい。今後も民生委
員として、困りごとを把握してつなぐ役割を果たしていきたい。」と語っ
ていただきました。



デイサービスセンター菜々から 野菜の寄付をいただきました



デイサービスセンター菜々は、広々とした田園風景と世界遺産に登録された「新原・奴山古墳群」が望める勝浦地域にある認知症の方を対象としたデイサービスです。

敷地内で利用者と職員が育て収穫した野菜を、地域の福祉活動に役立ててほしいとの思いから、継続して野菜の寄付をいただいています。



ご寄付いただいた野菜は、地域の交流や子どもの孤立防止を目的に開催されている地域食堂や配食をとおした高齢者等の見守り活動など福津市での地域福祉活動に使用しています。

地域食堂で



花見地区で毎月行われる地域食堂「花見食堂」

若木台3区サポートの会の
配食をとおした見守り活動



高齢者の見守りに



社会福祉法人北筑前福祉会

デイサービスセンター菜々

施設類型 認知症対応型デイサービス
(認知症対応型通所介護事業所)

所在地 福津市勝浦3515

☎0940(52)7077